

経常利益

125 億円

経常利益は、業務純益の増加などから、前中間期に比べ12億円増加し、125億円となりました。

中間純利益

91 億円

中間純利益は、前中間期に比べ9億円増加し、91億円となりました。

総預金等
(平均残高)

6兆2,037 億円

※総預金＋譲渡性預金

総貸出金
(平均残高)

4兆9,482 億円

自己資本比率
(国内基準)

12.27 %

経営の健全性を示す自己資本比率は国内基準を大きく上回っています。

不良債権比率

1.32 %

健全な資産を維持しています。

格付け

A (安定的)

格付投資情報センター（R&I）

経営の健全性や信用力が評価されています。

株主優待制度

当行では、日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

毎年3月末時点で1,000株以上を保有いただいている株主さまに、三重県ゆかりの名産品を掲載したギフトカタログを、毎年6月下旬に配当金関係書類とともにお送りしています。

●対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちの株主さま

●株主優待の内容

三重県ゆかりの名産品を掲載した「株主さまご優待ギフトカタログ」のなかから、保有株式数に応じてお好みの一品をお選びいただけます。

保有株式数	お選びいただける名産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

株主総会資料の電子提供制度に関するお知らせ

会社法改正により、株主総会資料は原則ウェブサイトで電子提供しています。

株式の状況

発行する株式の総数	396,000千株	上場証券取引所	東京・名古屋
発行済株式の総数	254,119千株	証券コード	8368
株主数	21,046名		

(注) 株主数は自己株式分を除いております。

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会議決権：毎年3月31日現在の株主さま 期末配当金：3月31日現在の株主さまに対し、株主総会の決議によりお支払いします。 中間配当金：中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いします。
公告方法	電子公告：当行ホームページ https://www.hyakugo.co.jp/ に掲示します。 ただし、電子公告ができない場合は日本経済新聞および伊勢新聞に掲載します。

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

お問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711（通話料無料）

編集 / 株式会社百五銀行 経営企画部

三重県津市丸之内31番21号
電話 059-223-2326
(本店所在地：三重県津市岩田21番27号)
2024年12月発行
<https://www.hyakugo.co.jp/>



HYAKUGO BANK
REPORT 2024

ミニディスクロージャー誌

2024年9月期 営業の中間ご報告

当行の概要（2024年9月30日現在）

名称	株式会社百五銀行
創立	1878年（明治11年）11月19日
本店所在地	三重県津市岩田21番27号
代表者	取締役頭取 杉浦 雅和
資本金	200億円
従業員数	2,260名

■ Top Message



取締役頭取

杉浦雅和

平素は、百五銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、これからもお客さまにさまざまな金融サービスをご提供することで、「頼りにされる銀行」となることをめざしてまいります。今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当行は2022年度より、長期ビジョンを「グリーン&コンサルバンクグループをめざして」へと刷新するとともに、中期経営計画「KAI-KAKU 150 2nd STAGE『未来へのとびらⅡ』～グリーン&コンサルバンクグループをめざして～」への取組みを進めてまいりました。本中期経営計画は最終年度を迎えておりますが、皆さまからの厚いご支援のもと、順調に進捗しております。引き続き、お客さまとの対話を通じた「質の高いコンサルティングの提供」や「気候変動リスクへの対応」について積極的に取り組むことで、地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

経済環境は厳しさを増しておりますが、地域の皆さまとともに発展していくために、グループの総力を挙げ、全役職員が一丸となって努力してまいりますので、一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

中期経営計画 2022年4月～2025年3月

KAI-KAKU150 2nd STAGE「未来へのとびらⅡ」 ～グリーン&コンサルバンクグループをめざして～

本中期経営計画では、5つの基本方針「カーボンニュートラルへの取組みの強化」「ビジネスモデルの強化」「生産性の向上」「経営基盤の強化」「SDGs/ESGの浸透」への取組みを通じて、お客さまの課題解決への支援を行うとともに、地域のカーボンニュートラル実現に向けた取組みを推進することで、お客さまと地域社会の未来を切り拓きます。

項目		2024年9月期 (実績)	2024年度 目標
KGI	連結当期（中間）純利益	91億円	150億円以上
	連結純資産ROE	3.83%	3.50%以上 ※長期的に5%をめざす
	コアOHR	61.07%	67%未満
	自己資本比率	12.27%	11%以上

■ 105 TOPICS

Topic 1 観光振興への取組み

■ 三重の地酒 ほろよい列車～みえの「酒」と「あて」～

2024年9月28日、公益社団法人三重県観光連盟、近畿日本鉄道株式会社と「三重の地酒 ほろよい列車～みえの『酒』と『あて』～」を共催しました。このイベントは2024年7月に東京都の三重テラスで開催したイベント「みえの『酒』と『あて』」の連動企画で、三重の認知度向上と観光誘客を図ることを目的として開催したものです。

観光は、宿泊、飲食、交通など幅広い分野への経済効果が期待できる産業であり、当行は観光に関わるお客さまの支援や地域イベントに積極的に取り組んでいます。

イベント当日、乗客62名の皆さまには近鉄名古屋駅から鳥羽駅までのおよそ2時間半、車窓から広がる景色と三重ならではの「酒」と「あて」を楽しんでいただきました。

県内7つの酒蔵の方々が、乗客の皆さまに対して酒蔵の歴史や酒造りにおけるこだわりなどを説明するとともに、県産豚肉を使用した、しそ餃子など県食材を取り入れた「あて」を味わっていただきました。

三重には美味しい酒や食材、有名な観光スポットが多くあります。当行は、それらの強みを活かした観光振興の取組みを積極的に行うことで、地域活性化を図っていきます。



Topic 3 障がい者雇用への取組み

■ アビリンピックへの挑戦

2024年6月に開催された第22回三重県障害者技能競技大会「アビリンピックみえ」において、当行グループの百五管理サービス株式会社で働くチャレンジド（障がいのある社員）4名が入賞しました。うち、オフィスアシスタント競技と喫茶サービス競技で1位となった2名は三重県代表として全国大会に出場します。

Topic 2 ハラルビジネス支援への取組み

■ 三重をハラルの中心地に

2024年7月、マレーシア投資開発庁（MIDA）との共催による「マレーシア・ハラル・ラウンドテーブルミーティング」を開催し、70名程度の地域事業者や官公庁の方々へ、ハラルビジネスの成長の可能性を発信しました。

本イベントでは、「ハラル^{*1}」が身近なものであることを体感いただく機会として、当行食堂において「ムスリムフレンドリー^{*2}」の食事を提供し、「ハラル」に対する理解を深めていただきました。また、交流会などを通してハラルへの挑戦を表明するお取引先さまや参加者同士のマッチングも複数成立するなど、地域産品の輸出促進・三重県インバウンド戦略の一步前進を感じたものとなりました。

今後も三重県をハラル先進県として位置づけるための活動を継続し、地域活性化に向けた活動を行っていきます。



※1 ハラル
イスラム教の教えにおいて「許されている」という意味のアラビア語です。ムスリムの方にとって、ハラルは生活全般においての指標のようなもので食べる物だけでなく行動や行為、服装などといった全てのものにおいて、それがハラルかどうか＝神に許された「もの」や「こと」なのか、ということに基づいて生活しています。

※2 ムスリムフレンドリー
ムスリムの方にできる限りの範囲で配慮や対応をする取組みです。

アビリンピックは、アビリティ（能力）とオリンピックを合わせた造語で、障がい者が日ごろ培った技能を競い合うことにより、職業能力の向上や障がい者雇用の促進などを図る目的で開催されています。同社では、2018年からチャレンジドの能力開発の一環としてアビリンピックに挑戦しており、これまでに全国大会で銀賞と銅賞を受賞しています。

